



【東大阪市版】

事業所エコだより

東大阪市では事業系ごみの削減に向け、大規模事業者による再資源化実績、また事業者による資源化の取組みなどをご紹介します『事業所エコだより』を創刊しました。

発行：環境部 循環社会推進課

〒577-8521

東大阪市荒本北1丁目1番1号

TEL：06-4309-3199(直通)

FAX：06-4309-3818

E-mail：junkanshakai@city.higashiosaka.lg.jp

HP：http://www.city.higashiosaka.lg.jp

東大阪市循環社会推進課

検索



事業者によるごみ削減の取組みについて取材しました



特定事業者による廃棄物処理実績

特定事業者とは…

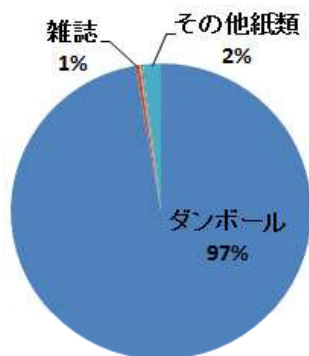
- (1) 1,000㎡以上の店舗面積を有する店舗をもって小売業を営む者
- (2) 患者200人以上の収容施設を有する病院を開設している者
- (3) 学校教育法に規定される高等学校、大学及び短期大学を設置している者
- (4) 3,000㎡以上の延べ面積を有する興行場、遊技場、集会場若しくは旅館においてそれぞれこれらの営業を行う者又は3,000㎡以上の延べ面積を有する事務所において業務を行う者

平成25年度に特定事業者から排出された一般廃棄物の発生量は18,758トンで昨年度より1,137トン増加しております。また、再利用率は10,461トンで、昨年度より1,145トン増加しております。この結果、廃棄物の再利用率は55.8%で、昨年度より2.9%増えております。東大阪市では、焼却処理量20%削減を目指し、再資源化を推進しております。各事業者様におかれましても、資源の有効利用にご理解いただくとともに、今後リサイクルの推進にご協力をお願いいたします。次回以降も取材記事の掲載を続ける予定ですので、「こんなことが知りたい!」「うちの取組みを紹介してほしい!」といった声があれば是非ご連絡ください。

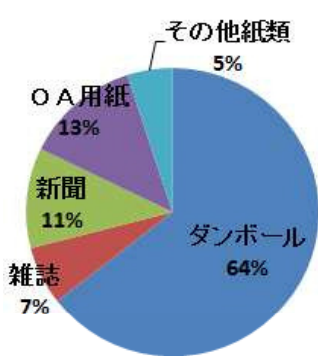
廃棄物種類	発生量(トン)	処理区分			
		再利用率(トン)	廃棄物処理(トン)	再利用率(%)	
一般廃棄物	ダンボール	7,474	7,304	171	97.7
	紙類				
	雑誌	322	270	53	83.7
	新聞	128	124	3	97.3
	OA用紙	231	185	46	80.2
	その他	332	167	165	50.3
	紙類小計	8,487	8,049	438	94.8
厨芥類(茶がら・残飯等生ごみ)	6,607	830	5,777	12.6	
その他	2,623	794	1,829	30.3	
小計	9,230	1,624	7,606	17.6	
一般廃棄物合計	17,717	9,674	8,044	54.6	
その他	びん類	172	115	58	66.5
	かん類	266	247	19	92.8
	プラスチック類	352	267	86	75.7
	その他	250	159	91	63.5
	小計	1,041	787	254	75.6
総合計	18,758	10,461	8,297	55.8	



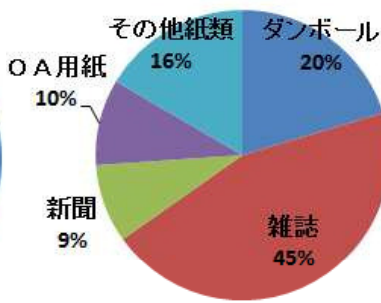
業種別紙類の廃棄物発生状況



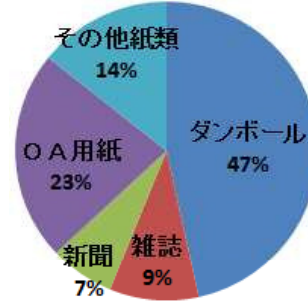
店舗



病院



学校



興行場、事務所等

大学での取り組み事例 ～大阪商業大学編～

ボランティア部

古紙リサイクルチームによる回収

- (1) 概要…平成19年度に設立され、現在に至る(部員数42名)
- (2) 回収品目…プリント類、ダンボール、古本、新聞、インカートリッジ
- (3) 回収先…学内の学部・法人事務所
- (4) 回収方法…月1回、台車で回収先を巡回し、回収業者が学内集積所で積み込み
- (5) 目標…古紙の売却金で車椅子を購入し、社会福祉団体に寄付
- (6) 回収量…150～300kg/月



学内の事務所を巡回回収



学内集積所で一時保管

夏場は暑く、トラックに積み込む作業は大変だが、資源の回収によって学校内のごみ削減につながり、社会に貢献していることがやりがいである。
(古紙チームリーダー談)



回収業者とともに積込作業

病院での取り組み事例 ～石切生喜病院編～

施設管理課

シュレーダーごみの再資源化

- (1) 概要…使用済の外来案内票からトイレトーパーを製造し、職員用トイレで使用
- (2) 目的…個人情報の保護・資源の有効利用・ごみの削減
- (3) 資源化量…1,000枚/日
トイレトーパー25個/日
- (4) 設備導入…平成22年9月



トイレトーパー製造機



完成品(トイレトーパー)



芯は電気配管材料を切って再利用

店舗での取り組み事例 ～イトーヨーカドー東大阪店～

主なごみ減量の取り組み

- (1) ダンボール排出環境の整備
各部門ごとに排出拠点を設け、ダストボックスへ投入
- (2) 電子帳票化の推進
売上明細などを電子帳票化して、紙の発生量を削減
- (3) 納品の工夫
これまでのダンボール梱包を見直し、何度も利用可能な通箱やハンガーでの納品方法を採用している
- (4) ペットボトル、古紙回収機の設置



納品の様子(右にあるのが通箱)



商品の保管の様子



ペットボトル回収機



古紙回収機